

【記入例①エントリー申請】がんばろう赤磐中小企業省エネ設備更新支援補助金 設備・機器 補助対象経費計算シート

同じ様式を「エントリー申請」→「交付申請」→「計画変更承認申請」（内容に変更がある場合のみ）→「実績報告」で使い回してください。変更がなければそのまま再添付、変更があれば該当箇所を直して再添付してください。

エントリー申請時は比較証明書の添付が不要なため自己算定した見込み値（5%以上）を入力してください。

■ 更新前（既存）設備・機器の処分（廃棄等）

更新前（既存）の設備・機器は、すべて廃棄又は引渡しを行っていただきます。処分方法を選択し、売却・下取りにより対価を得る場合は、その額（税抜）を入力してください。入力された対価の合計は、補助対象経費の合計から差し引きます。廃棄・無償の引渡しの場合は、対価欄の入力は不要です。
見積を取る際に処分方法や下取り額が分かる場合は、エントリー申請の時点から入力してください（未定の場合は空欄で構いませんが、交付申請時には必ず入力してください）／対価が税込で提示されている場合は、税抜に換算して入力してください／交付申請時は予定額で構いませんが、実際の売却額と差異のない金額を入力してください（補助金額は増額されないため、少なく入力すると自己負担が増えます）／値引き（本体価格の割引）は対価ではありません。値引き後の金額を上の明細表に入力してください／ここに入力した内容は、実績報告時に提出する「既存設備・機器の廃棄等証明書」と一致させてください。

No.	既存設備・機器の名称	型番又は型式	対応する導入設備No. （任意）	処分方法	処分（予定）日 （例：2026/10/30）	対価（税抜） （売却・下取りの場合）	備考
1	既存照明器具（蛍光灯）	FLR40S×20台	1	売却	2026/10/30	30,000	金属スクラップとして買取業者へ売却（予定）
2	既存業務用エアコン	RAS-〇〇〇（2台）	2	廃棄	2026/10/30		産業廃棄物処理業者に処分を依頼（予定）
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
対価 合計（税抜・自動）						30,000円	
補助対象経費 小計（税抜）						795,000円	
売却・下取りによる控除額（税抜）						30,000円	
★ 補助対象経費 合計（税抜） 【J グランツに転記】						765,000円	←この2つの数字を、J グランツにそのまま転記してください。
★ 補助金額（自動計算） 【J グランツに転記】						510,000円	
交付決定時の補助対象経費 合計額（税抜） （計画変更承認申請時・実績報告時に入力／対価控除後の額＝交付申請時に提出した本シートの★補助対象経費 合計と同じ額）							
ご確認ください（自動判定）						OK(入力内容に問題ありません)	
処分欄の確認（自動判定）						OK(処分欄の入力内容に問題ありません)	

【記入例②実績報告】がんばろう赤磐中小企業省エネ設備更新支援補助金 設備・機器 補助対象経費計算シート

同じ様式を「エントリー申請」→「交付申請」→「計画変更承認申請」（内容に変更がある場合のみ）→「実績報告」で使い回してください。変更がなければそのまま再添付、変更があれば該当箇所を直して再添付してください。

本書の提出段階

最終更新日（例：2026/08/20）

申請者名（屋号）のみ記載してく

申請区分（法人／個人事業主）

変更内容メモ（変更なしなら空欄）

実績報告

2027/01/20

赤磐商事（記入例）

法人

エアコンの本体価格が実績（値引き）により下限（法人22.5万円）を下回ったため対象外。工事費は廃棄・搬出の追加費用により実績で増加。既

様式版数：第2版
(2026.8.6)

■ 補助対象設備・機器の内容（同一単価のものを1明細として登録。単価が異なる場合は行を分けてください）

入力する金額の目安： エントリー申請＝見積金額 交付申請＝確定した見積・仕様の金額 計画変更承認申請＝変更後の確定金額 実績報告＝実際に支払った金額

設置場所は町名・番地まで具体的にご入力ください（例：赤磐市下市〇ー〇 〇〇工場内）／省エネ効果（％）は、エントリー申請時は比較証明書の添付が不要なため自己算定した見込み値（5％以上）を入力し、交付申請時以降は「設備・機器比較証明書」様式の3「省エネルギー等効果」G34セルの数値と一致させてください／数量は同証明書の「台数」（内訳がある場合は合計）と一致させてください／本体単価・設置工事費・運搬費は値引き後の金額を入力してください。既存設備の下取り・売却による対価は、この表ではなく下の「更新前（既存）設備・機器の処分」欄に入力してください

[illegible]

交付申請時以降は「設備・機器比較証明書」様式の3「省エネルギー等効果」の数値と一致させてください。

■ 更新前（既存）設備・機器の処分（廃棄等）

更新前（既存）の設備・機器は、すべて廃棄又は引渡しを行っていただきます。処分方法を選択し、売却・下取りにより対価を得る場合は、その額（税抜）を入力してください。入力された対価の合計は、補助対象経費の合計から差し引きます。廃棄・無償の引渡しの場合は、対価欄の入力は不要です。
見積を取る際に処分方法や下取り額が分かる場合は、エントリー申請の時点から入力してください（未定の場合は空欄で構いませんが、交付申請時には必ず入力してください）／対価が税込で提示されている場合は、税抜に換算して入力してください／交付申請時は予定額で構いませんが、実際の売却額と差異のない金額を入力してください（補助金額は増額されないため、少なく入力すると自己負担が増えます）／値引き（本体価格の割引）は対価ではありません。値引き後の金額を上の明細表に入力してください／ここに入力した内容は、実績報告時に提出する「既存設備・機器の廃棄等証明書」と一致させてください。

No.	既存設備・機器の名称	型番又は型式	対応する導入設備No. （任意）	処分方法	処分（予定）日 （例：2026/10/30）	対価（税抜） （売却・下取りの場合）	備考
1	既存照明器具（蛍光灯）	FLR40S×20台	1	売却	2027/01/15	30,000	金属スクラップとして買取業者へ売却
2	既存業務用エアコン	RAS-〇〇〇-2台	2	廃棄	2027/01/15		産業廃棄物処理業者に処分を依頼
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
対価 合計（税抜・自動）						30,000円	
補助対象経費 小計（税抜）						295,000円	
売却・下取りによる控除額（税抜）						30,000円	
★ 補助対象経費 合計（税抜） 【J グランツに転記】						265,000円	←この2つの数字を、J グランツにそのまま転記してください。
★ 補助金額（自動計算） 【J グランツに転記】						176,000円	
交付決定時の補助対象経費 合計額（税抜） （計画変更承認申請時・実績報告時に入力／対価控除後の額＝交付申請時に提出した本シートの★補助対象経費 合計と同じ額）						748,000	
ご確認ください（自動判定）						△ 対象外の設備・機器が含まれています（本体単価が下限未満）。該当行の経費は自動的に合計から除外されています。内容をご確認ください。	
処分欄の確認（自動判定）						OK（処分欄の入力内容に問題ありません）	